

科目名 Course Name	トラベルコーディネート Travel Coordination I				ナンバリング No.	E2-006	
年次	1年	期別	集中(後期)	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	伊藤 優子						
連絡方法	C-Learning または研究室(本館 2F)で対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP5,DP6						
授業の概要と到達目標	<p>海外旅行の心得を学び、研修先の社会生活およびサービス産業に関する学習を重ねる。観光産業が盛んな場所を予定しているため、観光・ホテル業など現地の仕事やその役割を実践的に学ぶと共に、観光だけでなく、現地の生活習慣や文化などにも触れることでより一層の知識を深める。</p> <p>①海外で観光産業の現状を把握し、観光産業に役立つことを考えることができるようにする。</p> <p>②観光産業に関わる旅行業・ホテル等の仕事の流れを学習し、就職後に実践的に活かすことができるようにする。</p> <p>③グローバルな感覚を身に着け、観光産業の現場で実践的に活用することができるようにする。</p>						
授業の方法	事前指導の中で英会話だけでなく、現地で使っている言語や国際的なマナー、出入国に関する法令などを確認し、現地で滞在中観光産業の現場や現地姉妹校等を研修する。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	①海外の観光産業の現状を把握し、日本の観光産業に役立つことを考えることができる。 ②観光に関わる旅行業・ホテル等の仕事の流れを学習し、現場で活かすことができる。					
	L04	①現地で活動を通して、グローバルな感覚を身に着け、観光産業の現場等で実践的に活用することができる。					
課題に対するフィードバック	渡航手続きの準備や・交流活動の検討等のプロセスにおいて、十分な意見交換とフィードバックを行う。						
教科書/参考図書	適宜プリントを配布する。						
履修上の留意点やルール等	事前指導の曜日、時間等は参加者が決まってから決定する。 事前講義・指導は5回分に相当し、研修に行くことで授業10回分相当とする。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	事前指導を休まず、渡航手続きや出入国に関することを積極的に学ぶ。			10	10
レポート/作品	現地で学んだ台湾の観光産業の現状や姉妹校交流の状況等を詳しくレポートに書くこと。課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。			15	15
発表					
小テスト					
試験					
その他	滞在中に、団体及びグループ行動の態度が良く、何でも吸収しようという積極的な態度を示す努力をすること。			25	25
合計				50	50

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(研修概要・渡航手続き・研修先での諸注意)①
	事前・事後学習	ガイダンス内容の再確認
2	授業内容	ガイダンス(研修概要・渡航手続き・研修先での諸注意)②
	事前・事後学習	事前に授業内容に関する下調べを十分に行い、疑問点等を次回授業までに調べてくること。
3	授業内容	渡航手続き 現地での言語のコミュニケーション術
	事前・事後学習	渡航手続きの確認と現地での言語の基本を復習。
4	授業内容	渡航手続き 国際マナー
	事前・事後学習	渡航手続きの確認と海外でのマナーにつき復習。
5	授業内容	出国までの流れ
	事前・事後学習	出入国手続きの復習。
6	授業内容	出国手続き 航空関連基礎知識
	事前・事後学習	出国手続きと航空関連の基礎的な知識を復習
7	授業内容	海外での入国手続き 現地の基礎知識
	事前・事後学習	入国手続きと現地の基礎知識の復習
8	授業内容	現地の観光スポットでの研修①
	事前・事後学習	現地の観光スポットを見直し、文化的価値や歴史について確認する。
9	授業内容	現地の観光スポットでの研修②
	事前・事後学習	現地の観光スポットを見直し、文化的価値や歴史について確認する。
10	授業内容	現地の観光スポットでの研修③
	事前・事後学習	現地の観光スポットを見直し、文化的価値や歴史について確認する。
11	授業内容	現地の観光スポットでの研修④
	事前・事後学習	現地の観光スポットを見直し、文化的価値や歴史について確認する。
12	授業内容	現地の観光スポットでの研修⑤
	事前・事後学習	現地の観光スポットを見直し、文化的価値や歴史について確認する。
13	授業内容	現地の衣食住の文化を修得する。
	事前・事後学習	現地での衣食住の文化について、復習し日本との違いを確認する。
14	授業内容	出発～帰国までの流れ
	事前・事後学習	現地での出国手続き 日本入国の手続きの復習。
15	授業内容	反省会 研修レポートの発表
	事前・事後学習	研修内容を十分に盛り込んだ研修レポートを作成する